

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E112K018		衛生学及び公衆衛生学 (Hygiene and Public Hygiene)							対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
必修	2	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用		月3	日本語		英語		単独					
担当教員	氏名 玉江 和義 E-mail k-tamae@oita-u.ac.jp 内線 7624														
授業の概要	集団としての健康について学習する。衛生学および公衆衛生学は、それぞれ複合学問領域であるため、学習内容は種々の学問分野を通して理解されねばならない。衛生学・公衆衛生学に基づく健康観、およびヘルスプロモーションの内容論と方法論の習得を通して、個人または集団、そして社会としての健康維持増進の在り方を講じる。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1	公衆衛生の概念、について造詣を深め、説明できる。							○	○	○	○	○	○		
目標2	健康概念、健康観、について造詣を深め、説明できる。							○	○	○	○	○	○		
目標3	公衆衛生に関係する各種統計、について造詣を深め、説明できる。							○	○	○	○	○	○		
目標4	疫学による健康と環境のかかわり、について造詣を深め、説明できる。							○	○	○	○	○	○		
目標5	ライフスタイルと健康の関係の概要、について造詣を深め、説明できる。							○	○	○	○	○	○		
目標6	主要疾患の予防、について造詣を深め、説明できる。							○	○	○	○	○	○		
目標7	ヘルスプロモーション、について造詣を深め、説明できる。							○	○	○	○	○	○		
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)								2	1	2	2	1	2		
授業の内容															
1 公衆衛生及び健康概念の理解															
2 生態系、地球環境と健康との関係性															
3 公衆衛生に関わる各種統計(人口統計学的変数)															
4 生活習慣病、自殺															
5 感染症															
6 健康と環境															
7 健康とライフスタイル															
8 医療サービスと健康															
9 母子保健															
10 学校保健															
11 精神保健															
12 産業保健(衛生)															
13 ヘルスプロモーションの理念(積極的保健について)															
14 ヘルスプロモーションの実践(米国型と欧州型の融合)															
15 まとめ															
ラーニングポイント	A:知識の定着・確認	○	小テスト 最終課題				工夫その他の	他教科(学校保健)との関連付けをしながら、授業内容を構築する。							
	B:意見の表現・交換	○													
	C:応用志向	○													
	D:知識の活用・創造	○													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	授業時間以外の日常において、健康を考究することを課す(15h)。その取り組みを通して生じた疑問などについて、授業において発問などができるよう準備を促す(15h)。													
	事後学修	授業で学習した内容論と方法論を日常で実践する(15h)。													
	想定時間合計	45													
教科書	テキスト集を配布														
参考書	国民衛生の動向														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	小テスト	20%	○	○	○	○						
	最終課題	80%	○	○	○	○						
すべての小テストおよび課題の合格を単位取得の条件とする。												
注意事項	正当な理由なき遅刻や欠席には厳正に対処する											
備考	授業における準備（授業前の検温や体調管理、必要に応じてマスク着用、資料集などの用意、など）を万全にして受講されたい。											
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の有無	○											
教員の 実務経験	本務校は勿論、非常勤講師としても、複数の国立大学と私立大学で20年以上の担当経験を有する。											
実務経験を いかした教 育内容	示範的な授業展開を担える。たとえば、疫学的統計学習、疫学的演習などにおいて。											